

## 北陸三県まちづくり団体への アンケート結果概要

第11回K.CATフォーラム  
「北陸連携によるまちづくりを考える」

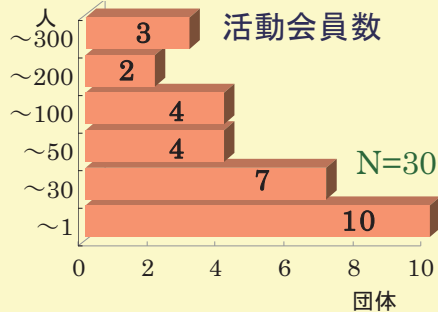
### アンケート調査(配布・回収状況)

	配布数	有効 配布数	回収数	回収率
福井県	27	26	7	26.9
石川県	39	36	12	33.3
富山県	33	32	11	34.4
合計	99	94	30	31.9

・ NPO等の94団体に配布、ほぼ30%前後の回収率

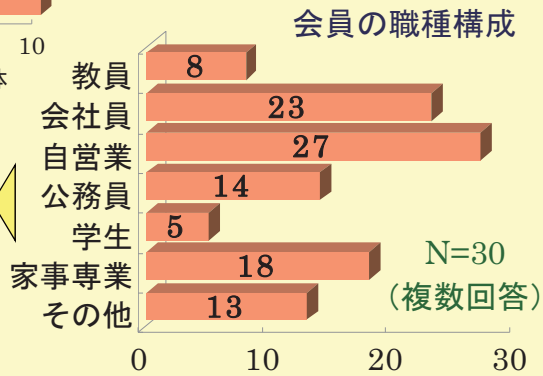
【回答団体の概要】

活動会員数とその職種構成



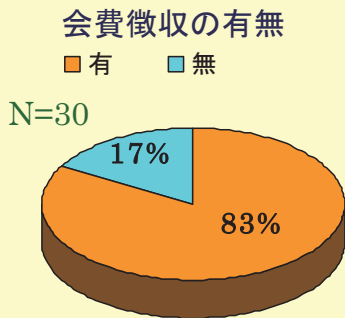
- ・ 1/3 の団体が30人以下 (その7割が正会員のみ)
- ・ 1万人を超えるメール会員を持つ団体もあり

- ・ 自営業者と会社員が主力構成職種
- ・ 60%の団体で家事専業が関わり、女性の参加も確認
- ・ 学生を有するのは5団体のみ



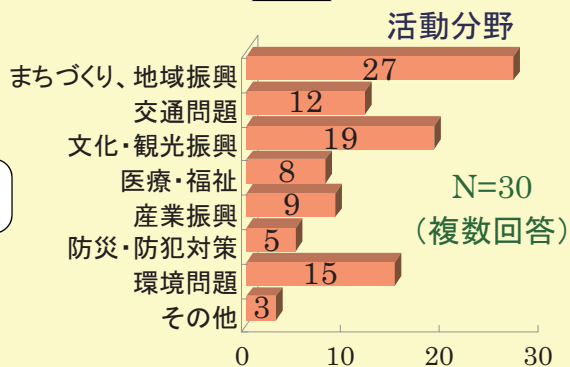
【回答団体の概要】

会費徴収の有無と主な活動分野



・ 83%は会費を徴収

- ・ 90%の団体は、まちづくりの活動
- ・ その全てが2~7の複数の活動をし、文化・観光、環境問題と組み合わせる活動する団体が多い
- ・ 単一活動は交通の3団体のみ

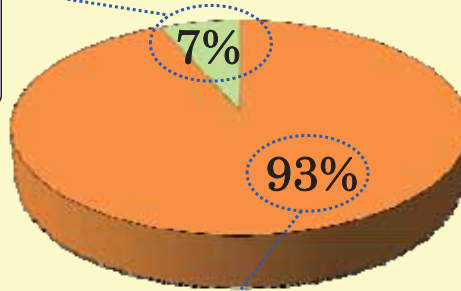


【貴会の活動における交流・連携について】  
 共同事業や情報交換等の交流・連携を行うことについて

N=30

■ ぜひ行くとよい □ 必要性は感じない

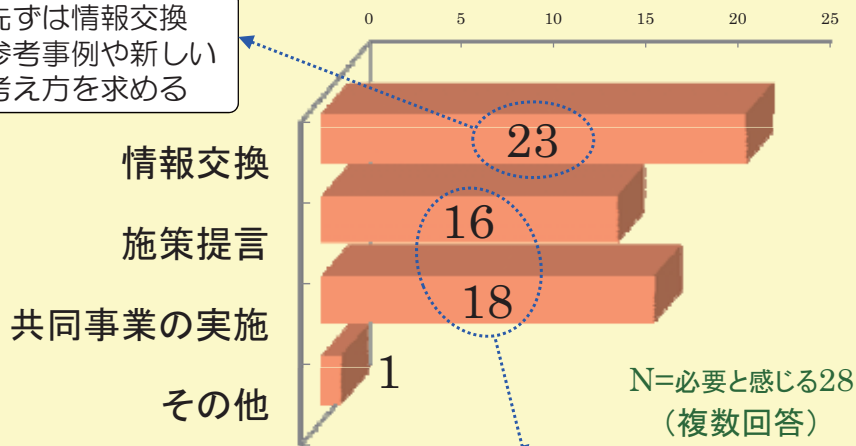
必要性を感じない  
 2団体  
 ・ 特殊な地域保存  
 ・ バス運行確保



93%の団体は、何らかの交流・連携が必要と感じている

【貴会の活動における交流・連携について】  
 どのような活動で交流・連携を行えばよいか

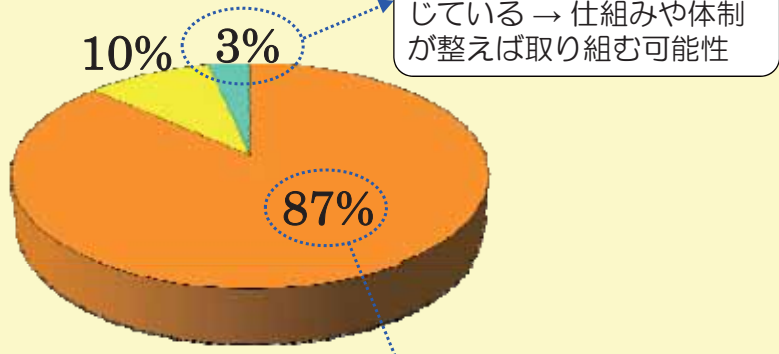
・ 先ずは情報交換  
 ・ 参考事例や新しい  
 考え方を求める



約6割が施策提言、共同事業をあげており、  
 活動の輪を広げ、発言の重みを増すために、  
 交流・連携が有効だと感じている

【貴会の活動における交流・連携について】  
他の活動組織との交流・連携を行っていますか

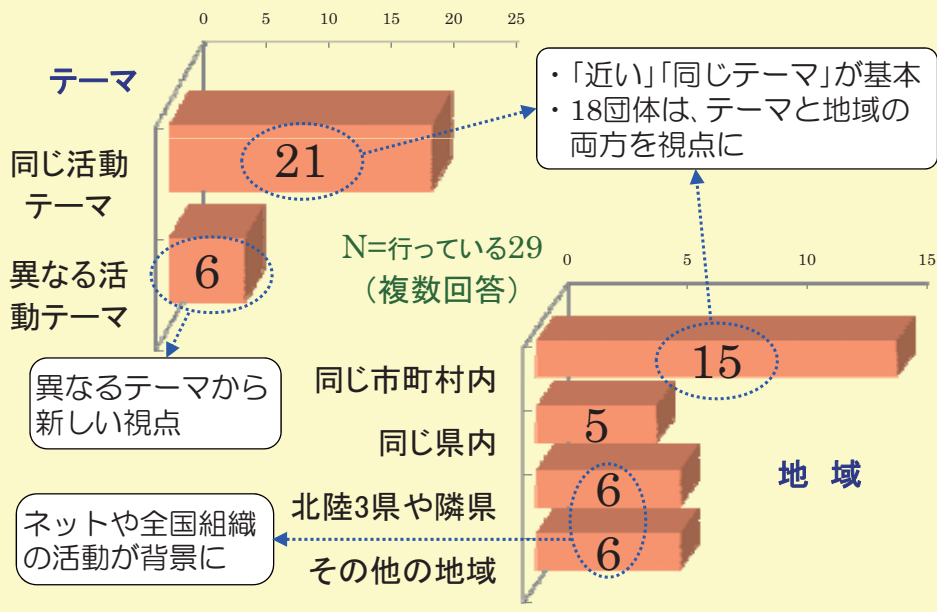
- 行っている
  - 今後行っていきたい
  - 今後行う予定はない
- N=30



予定はないが、必要性は感じている → 仕組みや体制が整えば取り組む可能性

・既に87%の団体は、何らかの交流・連携を行っている  
・必要性を感じていない2団体も行っている

【貴会の活動における交流・連携について】  
交流・連携している組織は、どのような視点で選んだのか

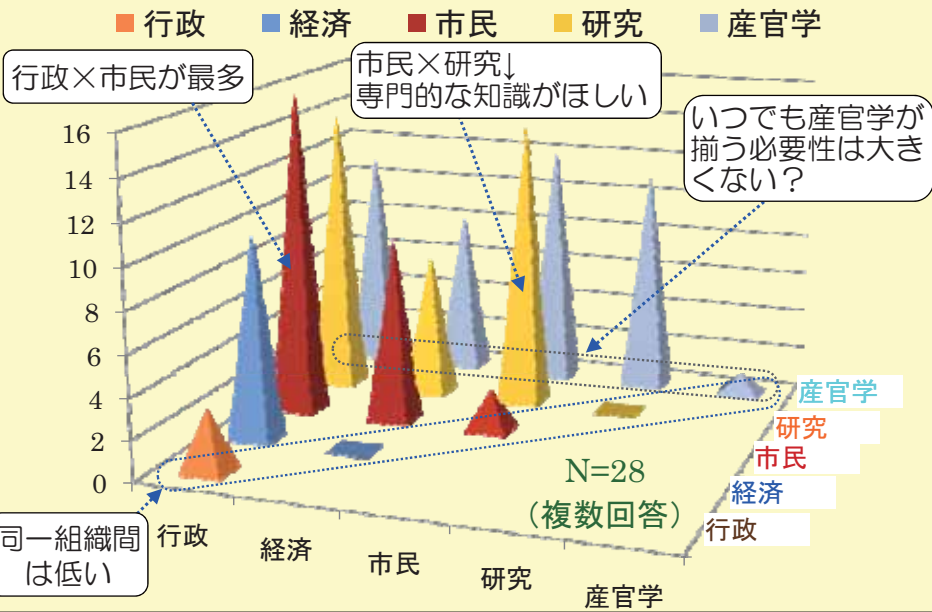


・「近い」「同じテーマ」が基本  
・18団体は、テーマと地域の両方を視点に

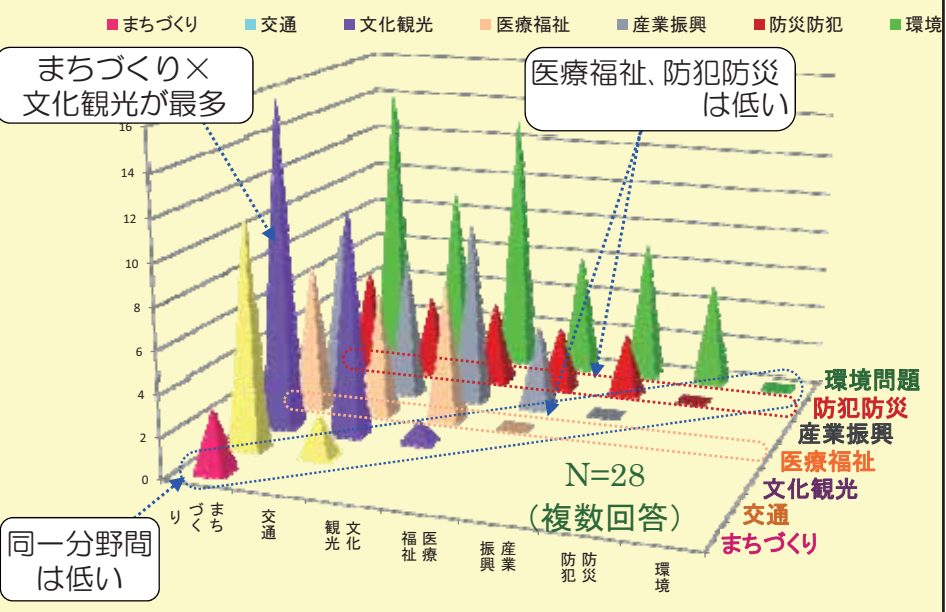
異なるテーマから新しい視点

ネットや全国組織の活動が背景に

【まちづくり関連活動における交流・連携について】  
 どのような組織間の連携が有効か

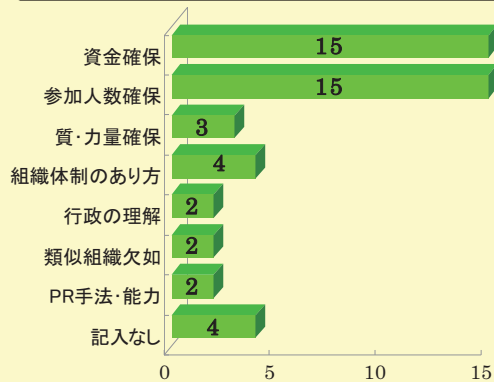


【まちづくり関連活動における交流・連携について】  
 どのような分野間が有効か



【フリーアンサーから】  
活動を行う上での課題

- 9割以上の団体が何らかの課題をあげている
- 半分の15団体が**資金確保**をあげ活動の大きな制約となっている
- 半分の15団体が**参加者確保**をあげている  
・新しい人材がほしい、活動のマンネリ化や縮小につながる



- その他
  - ・会員の力量・知識の向上
  - ・組織・体制の見直し
  - ・行政の理解不足
  - ・効果的なPR手法

【フリーアンサーから】  
具体的な提案・提言

- 6割の団体には記述がなく、経験のなさから思いつかない？
- 相互理解や課題の共有化を進める**中間組織が有効**では
- 単なる友好目的の交流・連携は、本来の目的を見失うのでは
- メディアへのアピールを意識すべき
- それぞれ自負があり、**相互の理解・信頼・敬意**が不可欠